

第11次加古川市交通安全計画(案)に関する委員からの意見と回答

No	ページ	該当項目	委員からの意見	回答
1	1	計画の基本理念	「高齢化が進展しても」という表現ですが、高齢化はすでに進行していることから「高齢化が進展しているなか」といった表現の方が良いのではないかと。	「高齢化が進展しているなか」と修正します。(※下線部が修正箇所)
2	2	目標	県が重傷者数を設定しているため、市も追随するのは仕方ないが、先端技術や救急医療の発展を理由とするなら軽傷者も含めた負傷者数の方がいいのではないかと。	国・県の計画に基づいて、市の目標を設定しているため、原案どおりとします。
3	3	1 高齢者、子ども、障がい者等の交通弱者の安全確保	「ユニバーサル社会づくりの実現の推進」は言い方を変えるべき。	「ユニバーサル社会の実現のためには」と修正します。
4	10	(4)生活道路における安全確保	「デバイス」は、電子機器の方にとらえられやすいため、日本語で記載すべき。	ハンブや狭さくなどは、「デバイス」を日本語にせず「物理的デバイス」と呼ばれることが多いため、原案どおりとします。
5	24	(ア)情報収集・提供体制の充実	「交通情報収集・交通情報収集提供装置」の書き方は意味が分かりにくい。	「交通情報収集・提供装置」と修正します。
6	51～55	(5)車両の安全性の確保	この項については、加古川市の計画になじまない記載が多い。 (例) ・産学官が参加する検討会が…実施する。 ・車両の開発を進める。 ・事故による傷害発生メカニズムを詳細に調べる ・より安全な自動車の研究開発を促進する など	国・県の計画に基づき、市の計画を策定することから、その整合性を図るため、原案どおりとします。
7	59	(ウ)高齢運転者による事故が相次いで発生している状況を踏まえた安全対策の推進	サポカーの性能向上が加古川市の計画になじむものか疑問。	国・県の計画に基づき、市の計画を策定することから、その整合性を図るため、原案どおりとします。